

熊本県 錦町

2013
町勢要覧



剣豪とフルーツの里

にしき





人の和を大切にし、老いても安心して暮らせる町
若人に夢と希望が持てる町

2013 錦町町勢要覧



町章



錦町のカタカナの二を図案化したもので、球磨の中央に位置することと、町内一円融和を円によって表現し、更に山と川と太陽の図案は将来に伸びる錦町を象徴する。

町のキャラクター



きんたろう
「錦太郎」



「ももりん」

町花



ツクシイバラ

町木



かし

町鳥



ほおじろ

錦町の概要

錦町は総面積84.93km²、その58%は山林で、南部山岳地帯(標高1,000m)より北に向かって傾斜しており、町内中心部は標高149.817mに位置しています。町内の中心部を国道219号線が東西に横断し、また国道と併行して北寄りに約2km隔てて清流球磨川が西流しており、この地域一帯が集中した水田地帯となっています。町内を大きく分けると南部と北部に区分されます。南部は山麓地帯でしたが、土地改良区の一連の事業により畑地灌がいの的な圃場となりました。その後一部が国の農村地域工業導入地区の指定を受け、企業誘致がなされており、団地化が進んでいます。またこの地帯は錦特産の一つである梨、桃の産地でもあります。北部は丘陵地帯で一部ゴルフ場となっているほか、この地帯は全国で産地賞に輝いた錦茶の産地としても知られています。南部北部とも、地質的には中性層の火山灰土壌で形成されていますが、球磨川沿岸平坦部は沖積層になっています。

錦町の沿革

錦町は旧藩時代相良藩に属していましたが、廃藩置県とともに人吉県に入りました。明治6年、西村・一武村は第14大区、第5小区、木上村は第6小区となりました。西村、一武村は、明治17年8月に合併し、西村列と称して組合役場を設けましたが、明治22年4月町村制施行と共に分離しました。同じく、木上村も、明治22年7月19日隣村深田村と組合を設置しましたが、明治27年3月31日に分離し、一行政区画となりました。そして、昭和28年9月に町村合併促進法が施行され、昭和30年7月1日に旧西村、一武村、木上村が合併して錦村を設置し、更に昭和40年4月1日町制を施行し、平成27年7月1日で合併60周年、町制施行50周年を迎えます。

錦町の位置

熊本県の南部、球磨郡のやや南に位置し、東にはあさぎり町があり、西には人吉市、南には宮崎県えびの市、北は相良村と接しています。

東経：130度50分35秒

北緯：32度11分52秒

面積：84.93km²





目次

概要・沿革・位置	2
ツクシイバラ	4
発刊にあたって	5
◆自然	6
◆祭り・イベント	8
◆歴史・伝統文化	10
◆産業	
農業・林業	14
工業・製造業	16
商業	18
にしきほるもん街道	19
◇人にやさしいまちづくり	20
町内保育園・幼稚園	
子育て支援	
公共施設の活用	
◇心を育むまちづくり	22
学校教育	
◇人と人をつなぐまちづくり	24
生涯学習・スポーツ、レクリエーション	
◇安心のあるまちづくり	26
地域福祉・健康活動	
消防・防犯	
◇暮らしやすいまちづくり	28
生活基盤整備	
◎メガソーラー事業	29
◇共に支え合うまちづくり	30
行政	
議会	
錦町歳時記・町民憲章	32



写真：今堀 寛二

ツクシイバラ

5月下旬から6月上旬にかけて花を咲かせるツクシイバラは、ツクシサクラバラともいわれ、野生種の野バラです。普通のノイバラに比べて、花が大きく、葉に照りがあるほか、ピンクや白など花の色が楽しめます。熊本県では準絶滅危惧種に指定されており、一時は河川環境の変化や盗掘などにより姿を見ることができなくなりましたが、保存会などの保護活動により再び美しく花を咲かせる姿を見られるようになりました。

やさしい香りを漂わせながら、初夏の球磨川河川敷内のサイクリングロードを薄桃色に彩ります。



写真：實生 献一



ツクシイバラコンサート

発刊にあたって

球磨川の畔には「ツクシイバラ」が咲き誇り、ほおじろやウグイスが
さえずる、自然豊かな我が錦町は、「人の和を大切にし 老いても安心
して暮らせる町 若人に夢と希望が持てる町」を基本理念に、幸せなま
ちづくりを進めております。

今、地方には少子高齢化社会による人口の減少と深刻な過疎化、また
地域産業の衰退など抱える問題は多く、取り巻く環境は依然として厳し
い状況です。更には住民の価値観や生活様式の多様化や一段とグローバ
ル化する経済、地球規模での資源・環境問題、さらには領土問題など大
きなうねりの時期を迎えております。

こうした状況の中、町民主役のまちづくりであることを念頭に
「心の豊かさ、人の営み、暮らしやすさ」といった町民の視点での
まちづくりを目指します。町民の皆さまの声をよく聞き、暮らし
を最優先的に捉え、生涯健康で楽しく生き活きとした生活が送
られるように、町政の運営に取り組んで参ります。

この度の町勢要覧は、町の更なる発展を願うとともに、町
民の皆様に「錦町に住んで良かった」と感じていただくた
め、資料編と併せて4年ぶりに作成しました。

本誌をご高覧いただき、今後とも町政発展のために温かい
ご助言とご理解を賜りたいと存じます。

最後に、発刊にあたりご協力いただきました、関係者の
皆様方に感謝申し上げご挨拶いたします。

平成25年3月

錦町長 森本完一



肥後西村駅（KUMA2）

豊かな自然と共に生きる

錦町には豊かな自然があふれています。春夏秋冬それぞれの季節がしっかり感じられる山や清流球磨川があり、公園や遊歩道も整備され、日々の暮らしに潤いと安らぎをもたらしています。

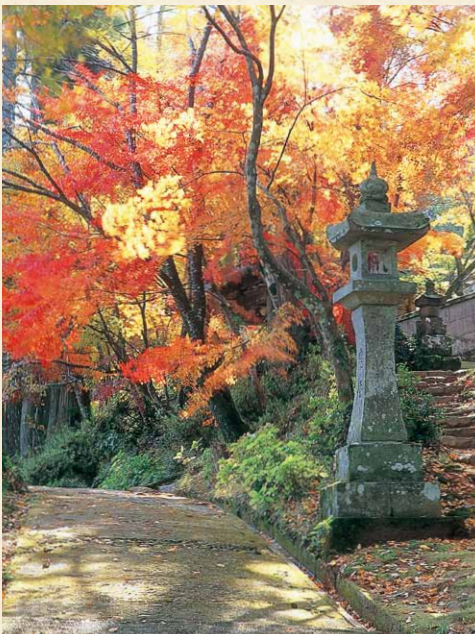


球磨川の夕景（木上）



錦・くらんど公園

道の駅錦に隣接する「くらんど公園」。公園の入り口には丸目蔵人と少年剣士の像を建立しています。遊具のあるわくわく冒険広場と、わんぱく広場、水辺の生き物を観察できる錦池があり、休日には公園で遊ぶ家族連れなどでにぎわいます。



新宮寺



大平溪谷



東方湧水 きれいな水が湧き、地域の憩いの場になっています。



鳩胸川下篠堰（一丸）



ふるさと祭り 「サンパ DE にしき」総おどり

活き活きと湧き上がるちから

錦町では、年間を通して多彩なイベントや祭りが行われています。「錦町夏まつり」や、三十三観音を巡る「相良路サイクリングフェスタ」、町民全員でサンパを踊る「錦町ふるさとまつり」、美しいハーモニーを奏でる「錦町音楽祭」など数々のイベントを通じて交流の輪を広げていきます。





祭り・イベント



ふるさと祭り



ロッククロージング



相良路サイクリングフェスタ



夏祭り



ひなまつり（植木市）

錦町くらんど公園をスタートする「相良路サイクリングフェスタ」。梨狩りをしながら家族で楽しめるコースと、三十三観音を巡るコースがあります。休憩ポイントでは、町のボランティアの方々がお茶やお菓子等の接待でイベントに協力いただいています。



音楽祭

音楽を通して青少年の健全育成や地域住民の文化的発展を図ることを目的として始められた音楽祭。地元の小学生による合唱や、中学校・高校の吹奏楽部による演奏などのほか、毎年ゲストが出演し、観客を魅了しています。

丸目蔵人佐長恵

(まるめくらんのすけながよし)

タイ捨流創始・相良藩剣術指南役
(1540～1629)

天文9年(1540)八代に生まれた。当時八代は相良氏の支配下にあった。若いころ上京して上泉伊勢守信綱に新陰流を学び、四天王の一人となり、足利13代將軍義輝に演武を披露して感状を受けた。その後、戦国の武将筑後山下の城主蒲池鑑廣や勇将柳川城主立花宗茂に新陰流を教え、授けた免状は今も保存されている。やがて新陰流を離れて、より実践的な剣法タイ捨流を創始、西国に広めた。示現流を採用する前の薩摩藩はタイ捨流をお家芸とし、佐賀では藩主鍋島直正もタイ捨流を相伝した。あるとき、徳川幕府の指南役柳生但馬守宗矩に試合を挑み「龍虎相搏つは非、天下を二分せん」と説得された話や、巖流島決闘のあとで訪れた宮本武蔵に、タイ捨流二刀の型を伝授したという話など、逸話も多い。

晩年は一武村(錦町一武)に隠棲して、村人とともに七町歩余の山野を拓き、その田畑や水路や植林地は残って今に活用される。元和4年(1618)、京都からローマに送ったイエズス会宣教師の報告書に、高潔で品格ある丸目蔵人佐の風貌が描かれているのは注目に価しよう。

寛永6年(1629)没。89歳。墓は切原野堂山。墓前には追善のために村人の建てた石灯籠がある。



丸目蔵人佐肖像画

文責 渋谷 敦(故人)



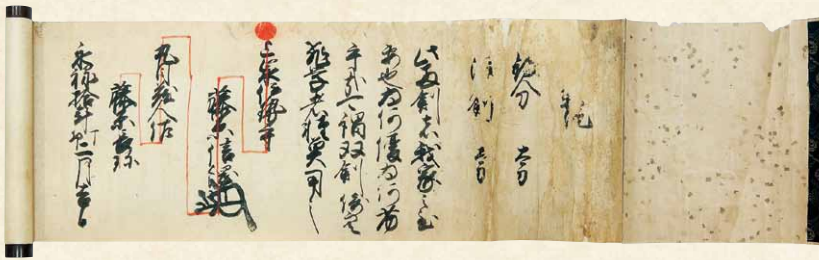
丸目蔵人顕彰少年剣道大会

晩年を錦町で過ごした剣豪・丸目蔵人佐を顕彰する剣道大会には、毎年九州各県から多くの小中学生が参加します。練習を積み重ねた剣士たちが、日頃の練習の成果を発揮して、白熱した試合を展開します。

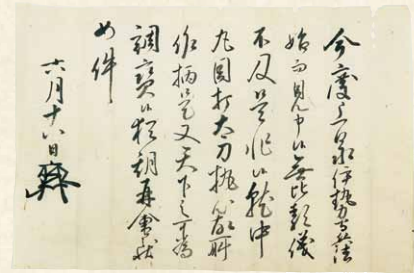
丸目蔵人佐の墓 (町指定有形文化財)

一武地区の切原野の堂山にある、剣豪丸目蔵人佐の墓です。晩年、鉄斎と号した蔵人佐は、相良氏から与えられた切原野の土地を開いて農耕にいそしみ、90歳でこの世を去るまで晴耕雨読に明け暮れたそうです。法名を雲山春龍居士といいます。



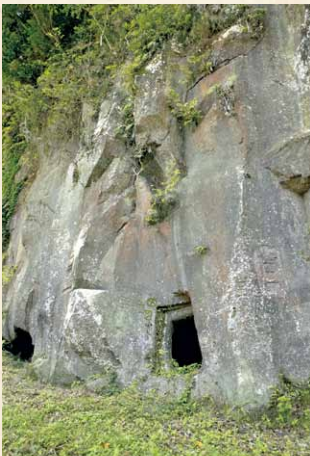


上泉伊勢守信綱から授かった「新陰流」印可状



足利義輝からおくられた感状

悠久の歴史に思いを馳せる



京ヶ峰横穴墓群 (県指定史跡)

6世紀後半につくられたと考えられる、球磨川の本流に川辺川が合流する南の阿蘇溶岩(黒岩)の崖面にある横穴墓群です。死者を祀るために高い崖の途中に穴を掘り部屋を設けたもので、入り口の周りに靱(ゆぎ=矢を入れ背負う道具)や、剣、盾、車輪状文が浮き彫りと彩色で表現されています。



別府前遺跡

錦南部5期地区農道整備事業に伴い、平成23年度より遺跡の発掘調査が行われています。約3,000年前の縄文時代晩期の土器や石器、住居址が発見されました。



桑原家住宅 (国指定重要文化財)

この住宅は、球磨・人吉地方に多く見られた鉤屋(かぎ)型の民家で、建築年代は江戸時代後期の文政(1818~1830)の頃といわれています。主屋は「ざしき」・「あらけ」・「なかのま」の3部屋が一行に並ぶ棟と、これに鉤型につながる「だいどころ」・「どうじ(土間)」の2部屋がある棟から構成されています。

迫の庚申塔



球磨郡内で現存する庚申塔の中で最も古い1534(天文3)年に作られた庚申塔です。庚申塔は庶民の信仰の証として重要な文化財です。町内では現在までに62基の庚申塔が確認されています。

歴史



木造釈迦如来座像 (県指定重要文化財)

荒田観音堂内にあり、本像は彫眼、彩色像で像高86.5cm。平安期の在名仏像は、九州で19例、熊本県では3例しかなく、表情が穏やかで端正な気品を見ることができ、年代の重みが十分うかがえます。



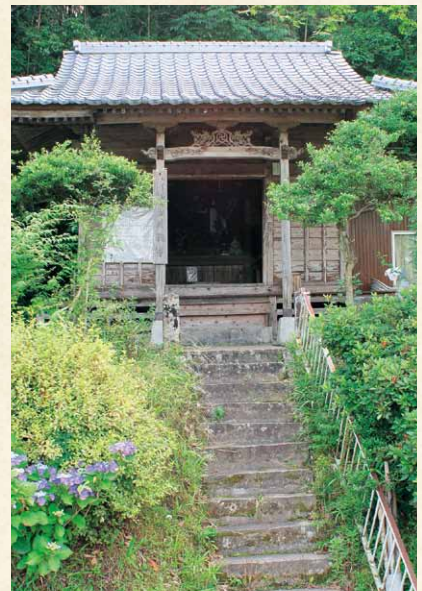
新宮寺六観音

新宮寺六観音は、天正4年の火災により一度は焼失しました。そこで、相良家18代義陽公が大旦那清原頼忠に六観音を彫像寄進するよう発願。大隅の仏師回月が天正5年に十一面観音、翌6年に如意輪観音を、仏師日高民部藤原秀永が同6年に千手観音をそれぞれ寄進しました。さらに、同7年に聖観音（作者不明）、天正14年に仏師金策が準提観音を納め、寛永7年、球磨の住人上村の尾形大学が最後の一体である馬頭観音を彫像寄進しています。年代を追ってそれぞれ違った仏師達が六観音を彫像したところが大変貴重だといわれています。



このもとじんぐう 木本神宮

町内に現存する古社寺の中で最も古く、1549（天文18）年に建立されました。球磨地域の神社の特徴である覆屋が本殿にかかっています。隣の覚井集落には1558～1570（永禄年間）に建立された二宮神社もあり注目を集めています。



土屋観音堂 (建造物・町指定文化財)

観音堂は相良三十三観音めぐりの31番札所であり、観音堂の後ろの丘陵は中世の土屋城址です。

錦町の無形文化財

地域に息づく 伝統文化



白太鼓おどり

言い伝えによると相良藩主が武道奨励の目的で始めたもので、源平合戦をかたどるともいわれています。頭一人、関二人、脇二人の基本構成に、垣五人などが加わり、太鼓、鉦を鳴らして乱舞する様は勇壮にして華麗です。



下須の建築踊り

戦後まもなく下須建築踊りとして発足し、祝い事や催し物のときに踊られていました。当時の建築に関する道具を全て用い、町長を先頭に各作業工程を再現した踊りで、現在は「七分館建築踊り」として存続されています。



下原女相撲

江戸時代に農業用水路「百太郎溝」の開削工事の休み時間に、女性たちが遊びで始めたのが起こり。現在は下原女相撲保存会により継承され、錦町ふるさと祭りの際に披露されます。



球磨神楽

近々、国の重要無形民俗文化財に指定される予定です。球磨・人吉地域の43ヶ所の神社で、10月8日～12月15日まで奉納されます。面をつけない「直面」が特徴で、以前は33番の演目があったとされますが、現在は17番までが残っています。写真は一武八幡宮で奉納された球磨神楽の様子です。



羅生門踊り

昭和初期まで主に祝事の際に踊られていました。平成元年に復活、現在、23分館太鼓踊り保存会の30人のメンバーにより継承されています。鉢巻、袴姿で太鼓と鉦を鳴らしながら軽快な古舞を披露します。



福島虎踊り

一武福島地区に伝わる虎踊り。一時途絶えましたが、地域住民が復活させました。五穀豊穡を願う奉納的な踊りと違い、祝いの踊りで娯楽的要素が強いもので、「虎踊り」と「河合又五郎物語」の2幕からなります。武士一行や田楽売り、茶屋の亭主と娘など総勢20人が上演します。



たくましい産業の町づくり

活力ある地域社会を作っていくには地場産業の振興がかかせません。誰もが仕事に誇りと生き甲斐を持つことができる産業の育成をめざします。





水稻（横山地区）



繁殖牛 品評会



太秋柿



桃

おいしい・安全・錦町ブランドの確立を目指します

大きな変革の時代に対応した農業施策を進めるため、農業経営においては、安定供給はもちろん、消費者の求める「おいしい」「安全」「安心」をクリアすることが課題になります。生産コストを低減し、生産性を高め、良質な農産物の生産に向けた経営の強化に取り組むため、関係団体と連携し、振興に努めています。



カントリーエレベーター

守り育てる林業を目標に

近年森林は、木材の生産のほか、豊かな水やきれいな空気を育む環境材としての役割も注目されています。守り、育てる林業を目標に、国や地域と連携をとり各種事業に取り組んでいます。



町有林



上田農具刃物製作所

町を支えるちから

就業者が定住しやすい住宅環境の整備や、既存工場の経営安定のための施策、自然環境と共生していける企業の誘致にも力を入れています。また、地場産品を使い地域に根ざしたオリジナリティあふれる新しい工業の創出を目指しています。



六調子酒造（株）



常楽酒造（株）

工業・製造業

産業



九州武蔵精密(株)



ルネサスセミコンダクタ
九州・山口(株) 熊本錦工場



加賀コンポーネント(株) 熊本工場



(株)球磨カントリー倶楽部



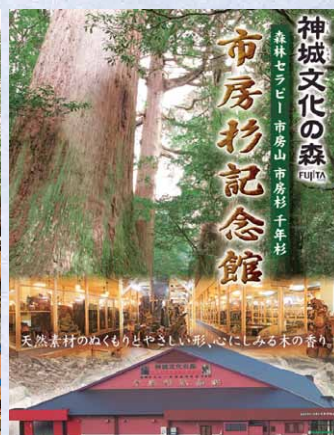
新宮ゴルフ練習場



ゼンカイミート(株)



(有)トータルケアサポート



藤田(株)



赤津焼 陶祥窯



住岡きじ馬製作所



道の駅「錦」くらんど市場

魅力ある商店街の形成

マイカーの普及による消費者の町外への流出や、大型店への購買力の集中、ライフスタイルの変化など、消費者行動の変化により、多くの問題を抱えています。こうした消費者ニーズの多様化などに対応できる個性あふれる商店街の形成に力を入れています。町民だけでなく、近隣市町村の住民や旅行者がわざわざ立ち寄りたくなる魅力ある商店街を目指して、さまざまなアイデアを生かした施策を進めています。



花工房たけだ



花ごころ

にいきほるもん街道

錦町では、町をあげてホルモン料理をPR。
各店舗工夫を凝らしたホルモン料理をご用意
しています。ぐるっと全店制覇目指しませんか。



①【市房食堂】
イチフサ黒ホルモン



②【味処みやぎき】
スタミナ煮



③【お食事処ふるさと】
黒ホルモン



④【ニューつねまつ】
ホルモン唐揚げ (道の駅錦で販売)



⑤【パルティール福寿庵】
丼どんいけちやうホルモン丼



⑥【くらんど】
鹿児島県産豚ホルモン



⑦【ふじ】
ゆず塩煮込みホルモン



⑧【珉珉軒】
みそ煮込み風ホルモン



⑨【ペンギン】
ペンギンのタマゴ



⑩【たこやき大阪錦店 神園商店】
味付丸腸ホルモン



⑪【パンの家 ボン・クール】
ホルモン入りピタパン



⑫【喜楽苑】
塩麴ホルモン



オリジナル
ほるもん街道
焼酎

六調子酒造と常楽酒造で
販売しています。

ほるもん、よかもん、うまがもん

【問い合わせ】
錦町観光協会 (錦町役場 企画観光課内)
TEL0966-38-4419

人にやさしいまちづくり

次の世代を担う子ども達が、心身ともに健やかに成長できるよう、保育園等への公的な支援、乳幼児健診などの各種健診事業、保健師栄養士によるきめ細やかな保健活動を展開しています。社会全体で子育てを支援する意識を啓発し、子育てしやすい環境づくりを進めています。

町内保育園・幼稚園



一武保育園



にしき幼稚園



福島保育園



木上ひかり保育園



西保育園



サン保育園



乳幼児健診



歯科検診



子育て支援活動



就学時健診



キッズクッキング



読書コーナー



キッズルーム



ブックスタート



町立図書館

平成23年8月に改装し、明るく、落ち着ける図書館としてたくさんの方々に利用されています。図書の充実や移動図書館車の活用、毎月の読み聞かせ会、季節のイベントなど開催し、町民の方の読書環境の充実に努めています。

心を育むまちづくり

未来を担う子ども達の教育は最も力を入れなければならない重要課題です。新しい時代に適応した、自ら学び、考え、行動し、他人を思いやる心を育てる教育が必要とされています。地域の人材や資源を生かした体験的な学習を取り入れ、学校、家庭、地域が連携して子ども一人一人を見守り、育む環境づくりに努めています。

西小学校



梨園見学



花の宅配便



西小フェスタ



挨拶運動

一武小学校



稲刈り



修学旅行



運動会



田植え



授業風景

木上小学校



クラブ活動（ゴルフクラブ）



授業風景



集団宿泊



脱穀作業

錦中学校



授業風景



野球部



吹奏楽部



卓球部



ソフトテニス部



体育大会



文化祭



校内清掃

平成24年度に創立50周年を迎え、記念式典を挙行了しました。「輝く笑顔 光る汗 錦中」のキャッチフレーズで、校歌にあるように生徒達は「肩くんで 胸はって 声あわせ」て学習に、運動に、挨拶に、掃除に、頑張っています。

熊本県立球磨商業高等学校



創立40周年記念式典（平成23年11月2日）

地域に根差した学校として、平成23年度には創立40周年記念式典を催すことができました。「今日から日本一」という目標を掲げ、生徒一人ひとりが部活動や資格取得など、様々な面で活躍しています。

資格取得では、本校創立以来初めて、税理士試験（簿記論）の合格や基本情報処理技術者試験、日商簿記検定試験など、数多くの高度資格に合格しています。

机上での授業だけでなく、他校の生徒とインターネットを使った商品売買を行ったり、生徒自らが仕入れ・販売・経理を行う「球商百貨店」も地域の方々から好評を得ています。



インターネットを使った他校との電子商取引の授業



12月に催す「球商百貨店」、来客数は3,000人を超える

人と人をつなぐまちづくり

町民が生涯を通じて学ぶ場を持ち、自己啓発を行って生き生きと暮らしていくためには、それぞれの年代に応じた社会教育の場が必要です。地域で学ぶことは大きな喜びでもあり、学びを通して、子どもとお年寄りのふれあい、地域の文化遺産への理解なども深まり、ひいては郷土を愛する心の育成にもつながると思います。

生涯学習 ー豊かな人生を過ごすためにー



にしきセミナー



にしき大学



山野草講座



史跡巡りウォーキング



文化祭



文化祭 (ステージ発表)



ボランティアフェスティバル (手話発表)



ボランティアフェスティバル (講演)



新春駅伝大会

スポーツ・レクリエーション

さまざまな世代でそれぞれの体力や年齢、目的に応じて気軽にスポーツやレクリエーションに親しめる環境づくりを進めます。



町民体育祭



くらんどカップサッカー



錦旗ソフトテニス大会



グラウンドゴルフ大会



町民ゴルフ大会



分館対抗バレーボール大会



フルーツ祭りゲートボール大会



分館対抗ソフトボール大会

安心のあるまちづくり

生まれたばかりの赤ちゃんから、お年寄り、障がいを持つ方までこの町に住むすべての人が、安全で健やかな毎日を送れるよう福祉の町づくりを心がけています。また、公的サービスを充実させるとともに社会福祉協議会、民生委員協議会及び地域のボランティアなどの活動を中心に、住民の自主的な福祉活動への参加を促進し、住み慣れた地域で支え合う体制づくりに努めます。

地域福祉・保健活動



たっしやか教室



地域の縁がわづくり



太極拳



福祉センター



いきいきサロン

健康づくり日本一の町を目指して

町民一人一人が、自分らしく生き生きと暮していけるよう、予防活動を基本に、健康診断や健康教室、介護予防教室などを実施しています。



健康診断



保健センター



人吉下球磨消防署 東分署



消防団活動



総合防災訓練

消防・防災対策の推進

災害などを防止し、安全・安心な地域社会の実現のため、消防署と、消防団が綿密に連携し合い、さまざまな災害に対応すべく、各種訓練に取り組んでいます。

治安・防犯活動の推進

犯罪被害に遭わない、起こさない町を目指して駐在所、関係各団体や町民との連携による「自分たちの地域は自分達で守る」という地域防犯活動を推進し、防犯パトロールを行っています。



交通安全への取り組み



ボランティア活動（総合防災訓練）



一武駐在所



木上駐在所

暮らしやすいまちづくり

町営住宅の整備、安定した生活用水の供給維持、豊かな自然環境を守るための下水処理施設の充実に努めます。また、ごみ処理についても、ごみの減量、分別収集、リサイクル化の徹底に取り組んでいます。道路については年間を通して安全な交通を確保するため、維持管理を行っています。

生活基盤整備



町営住宅



道路整備



球磨川上流浄化センター



木上貯水タンク



リサイクルの活動



ゴミ収集

メガソーラー事業

メガソーラーとは、1メガワット（1,000キロワット）を超える大規模な太陽光発電のことを称します。近年、地球環境に配慮した再生可能エネルギーが注目され、各地で太陽光発電に取り組まれています。

錦町では、人吉球磨管内で先駆けて平成25年4月現在、2つのメガソーラーが稼働しており、この他にも計画がされておりあります。



●熊本一武ソーラー発電所

- 開発運営 三井物産㈱
- 敷地面積 約3.3ha（町有地）
- 太陽電池出力 約2.2MW
- 年間予測発電量 245万kWh
- ソーラーパネル枚数 約15,000枚
- 発電開始時期 平成25年3月
- 総事業費 約7億円



●九州ソーラーファーム8錦発電所

- 開発運営 芝浦グループホールディングス㈱
- 敷地面積 約3.7ha（民有地）
- 太陽電池出力 約2.2MW
- 年間予測発電量 213万kWh
- ソーラーパネル枚数 約7,500枚
- 発電開始時期 平成25年2月
- 総事業費 約7億円

共に支え合うまちづくり

行政

「町民の目線で考え、町民のために働き、町民とともに行動する」を職員の行動原理とし、ふるさとを愛する心、何事もやり抜く使命感、専門性と改革意欲を持ち、町内のさまざまな課題やニーズに対して、対話を深めながら共に考え行動していきます。



三役（左から、森本完一町長、岩本公明副町長、小田定則教育長）



役場庁舎



あいねっと放送

あいねっと放送（町内放送）は、地域情報通信基盤整備事業に伴い町内全域に光ファイバーを敷設して、告知放送端末機を設置し平成23年4月から供用を開始しております。また、IP電話（町内無料電話）やインターネットが利用できます。

議会

町民の声を町政に反映させるため、活発に意見を交換し議論し合います。年4回の定例会と、必要に応じて臨時会が開催されているほか、総務・厚生文教・建設経済の3つの常任委員会と特定の問題について審議する特別委員会があり、きめ細やかな活動を行っています。



町議会議員



定例会



議長 宮本 堅志



副議長 荒川 孝一



総務常任委員研修



町内企業研修

錦町 歳時記

4

錦町消防団入退団式
分館対抗ソフトボール大会

5

職域対抗ゴルフ大会
剣豪「丸目蔵人」顕彰
少年剣道選手権大会

6

7

8

錦町夏祭り
分館対抗バレーボール大会

9

相良路サイクルフェスタ

10

錦町民体育祭(隔年開催)
町民ゴルフ大会
錦町音楽祭

11

錦町ふるさと祭り
錦町文化協会文化祭

12

球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会
年末警戒

I

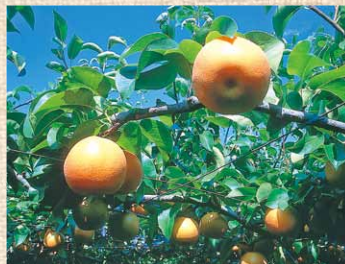
錦町成人式
錦町消防団出初式
錦町新春駅伝大会

2

にしき植木市
分館親善ゴルフ大会

3

にしきまちボランティアフェスティバル



まちの風景写真は、錦町文化協会写真部の
方々にご協力いただきました。

町民憲章

- 一、自然を大切にする
美しい町をつくります
- 一、きまりを守る
住みよい町をつくります
- 一、健康で
明るい町をつくります
- 一、文化を育む
豊かな町をつくります
- 一、希望と生きがいのある
楽しい町をつくります



ツクシイバラ
九州を意味するつくし（筑紫）とイバラを
合わせた名前で、南九州独特の野イバラの
意味があります。

錦町 町勢要覧2013

〒868-0302 熊本県球磨郡錦町大字一武 1587

錦町役場企画観光課

TEL 0966-38-4419 FAX 0966-38-1575

<http://www.nishiki-machi.com/>

E-mail : info_nishiki@town.kumamoto-nishiki.lg.jp

